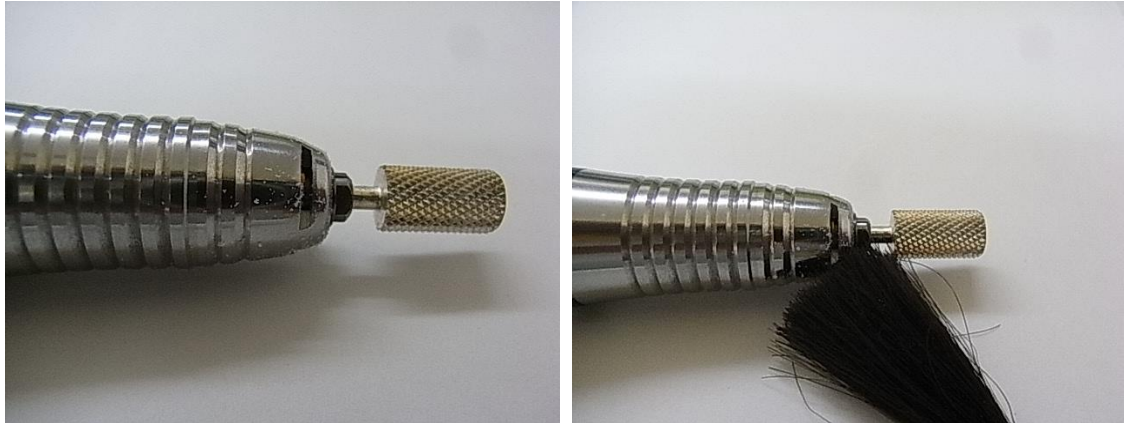


メンテナンス方法：施術後、マシンが回転していないことを確認したのち、ハンドピース先端に付いた粉塵を、ブラシ等で払い落として下さい。その際、スリット部（内部が見える溝）からハンドピース内にダストが入らないようにご注意ください。



使用したビットを外し、テストバー（御購入いただいたときに最初に装着されている棒）をロックした状態で保管するようにして下さい。そうすることにより内部へのホコリの浸入を防ぎ、マシンの精度を長期間維持できるようになります。（テストバーをなくしてしまわれた際は、使用しなくなったビットでも代用可能です。）



補足：上記の清掃を行っていただくことによりメンテナンスまでの期間は延びますが、内部ベアリングには寿命があります。ベアリングは安定した高速回転には不可欠な部品であり、精密な部品ですので、落下等の衝撃により痛みやすい部品となります。マシンのお取り扱いには十分ご注意くださいよう宜しくお願い致します。